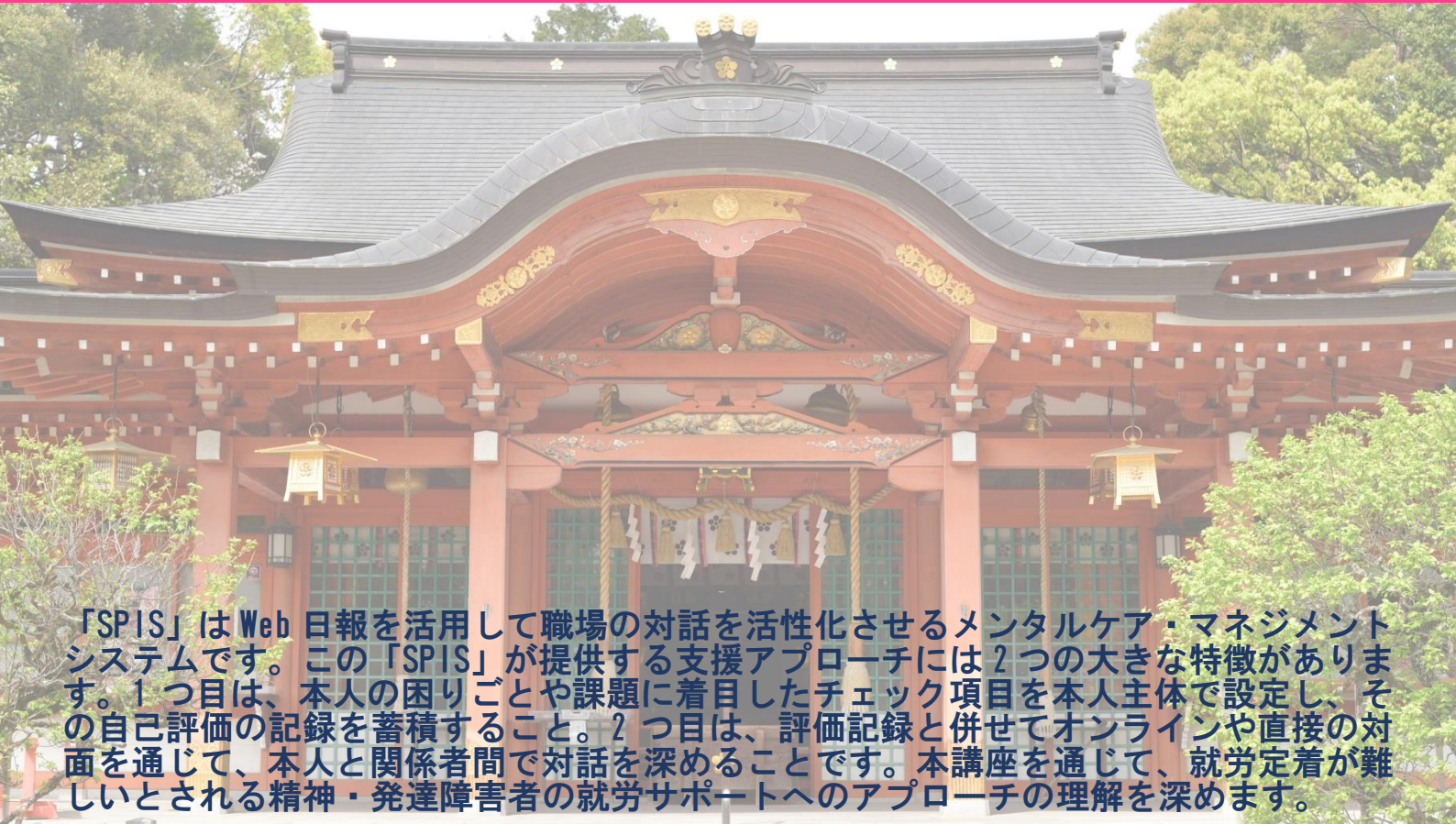


長岡病院心理課主催

心理臨床ワークショップ

～SPIS を用いた精神障害および発達障害のある方の就労支援～



「SPIS」はWeb 日報を活用して職場の対話を活性化させるメンタルケア・マネジメントシステムです。この「SPIS」が提供する支援アプローチには2つの大きな特徴があります。1つ目は、本人の困りごとや課題に着目したチェック項目を本人主体で設定し、その自己評価の記録を蓄積すること。2つ目は、評価記録と併せてオンラインや直接の対面を通じて、本人と関係者間で対話を深めることです。本講座を通じて、就労定着が難しいとされる精神・発達障害者の就労サポートへのアプローチの理解を深めます。

令和 元年 6 月 23 日(日) 10:00～16:30 (9:45 開場)

会場：長岡病院 カンファレンスルーム

(阪急京都線 西山天王山駅 徒歩3分, JR 京都線 長岡京駅 より シャトルバス)

定員：45名 講師：一般社団法人 SPIS 研究所 ほか

参加費：5,000 円

対象：精神・発達障害者の就労支援に関心のある保健・医療・福祉・教育・司法の専門職、精神・発達障害者を雇用 または 雇用を検討する企業など

【臨床心理士の資格更新ポイント(2P)を取得できます】

第2講(基礎編) 7/28(日), 第3講(実践編) 9/8(日)

参加お申込サイト：<http://goo.gl/peL81R>

お問い合わせ：長岡ヘルスケアセンター(長岡病院) 心理課

TEL：(075) 951-9201 (代) E-mail: nagaokashinri@gmail.com

プログラム (プログラムの内容は変更される場合があります)

時間		プログラム
受付開始 (9:45 ~)		
10:00-10:10	開会あいさつ	一般財団法人 長岡記念財団 長岡ヘルスケアセンター 副院長 角谷 慶子
10:10-10:20 (10分)	行政報告	障害者雇用における「SPISを活用した就労定着支援モデル事業」について 京都障害者雇用企業サポートセンター 実践アドバイザー 谷垣 信也
10:20-11:00 (40分)	Session 1	「SPISのしくみを知る」 開発目的から導入効果まで。ワークフローと操作方法をレクチャーします。
小休憩 (10分)		
11:10-12:00 (50分)	Session 2	「SPISの特徴を知る」 SPISの3つの特徴と、支援者に求められるカウンセリングマインドとコーチングスキルについて説明します。
昼食休憩 (60分)		
13:00-14:00 (60分)	事例報告 1	「SPIS わが社での取り組み」 株式会社島津製作所 人事部 マネージャー 境 浩史
	事例報告 2	平成30年度「SPISを活用した就労定着支援モデル事業」に関わって 長岡ヘルスケアセンター 医療社会事業部 心理課 阿部 郁美
小休憩 (10分)		
14:10-15:30 (80分)	Session 3	「当事者を理解する・当事者との関係を作る」 当事者からの発信をどう読み解くか。当事者の言葉にどうコメントし関係を作っていくか。グループワーク形式で学習します。
小休憩 (10分)		
15:40-16:20 (40分)	Session 4	「感想をシェアする」 本日のワークショップの感想をグループでシェアします。
16:20-16:30	閉会あいさつ	一般財団法人 長岡記念財団 長岡ヘルスケアセンター 副院長 角谷 慶子

SPiS

精神・発達障害者の

雇用マネジメントサポートシステム

「不調の兆候のキャッチ」「タイミングを捉えた適切な配慮」「支援機関との情報共有・連携」

SPISは、精神障害・発達障害に特化した就労移行支援事業を展開するJSNが訓練記録用に平成21年から使用していたシステムを基に、有限会社奥進システムの協力の下で企業の方にも使いやすいよう改良を加え、平成23年に開発された就労定着支援システムです。



本研修会は、公益財団法人 JKA から競輪公益資金の提供を受けた
NPO 法人 全国精神保健職親会 の協力により開催されます。



主催：  一般財団法人 長岡記念財団
NAGAOKA KINEN ZAIDAN

長岡病院心理課

協力：  v Foster.org

NPO 法人 全国精神保健職親会